

図 画 工 作 科 学 習 指 導 案

令和3年5月25日（火） 第4学年3組（第1図工室・校庭） 指導者 貞永 瞳

【題 材】 光りの世界（造形遊び）

考 察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	・ カラーセロハンの色の変化や写し出される色などによる光の面白さが分かる力（共（1）ア） ・ カラーセロハンの色の変化や写し出される色などを基に、手や体全体の感覚を働かせながら、色の配置や組合せ方、傘の置き方を工夫する力（A（2）ア）	・ カラーセロハンの色の変化や写し出される色などによる光の面白さを基に、自分のイメージや思いをもつ力（A（1）ア） ・ カラーセロハンの色の変化や写し出される色を基に、色の配置や組合せ方、傘の置き方を思い付き、試しながら造形遊びを広げる方法を考える力（共（1）イ）	・ つくりだす喜びを味わうとともに、カラーセロハンに光に当てたときと当てていないときの色や、色が写し出されたときと写し出されていないときの色を比べながら、造形遊びを楽しむ態度
児童の実態	・ 平面に切った段ボールに切り込みを入れて組み合わせる造形遊びから、手や体全体の感覚を働かせながら、平面に切った段ボールの組合せ方を工夫すると、自分の体よりも大きな作品ができることを知っている。 ・ 直接手で触れることのできない光に対して、自分のイメージや思いを生かして自ら色を変化させたり、光の色の面白さを感じたりする経験は少ない。	・ 絵の具の色が混ざり合っていく様子を基に、自分なりのイメージや思いをもって造形遊びを行うことができる。 ・ 友達のイメージや思いが込められた行為や作品を基に、自分のイメージや思いを広げることができる。	・ 絵の具の色が混ざり合う過程の、色の変化を楽しめる。 ・ 色の組合せ方から、イメージや思いを膨らませながら、造形遊びを楽しむことができる。
価値	・ カラーセロハンは透過性のある素材であり、光に当てると色が明るく見え、光を通すと光の当たる場所の一部分に色が写し出される。ビニル傘は軽量で持ち運びがしやすく、中に入ったり柄を用いて吊るしたりできる形状の素材である。透明なビニル傘に、色の配置や組合せ方を工夫しながらカラーセロハンを貼り付けることにより、様々な場所に色を写し出すことができる。植物や遊具、木陰にある木漏れ日の部分、立体的なものなどに色が写し出されることによって、色の変化から光を造形的に捉え、自分なりの価値が見いだせる。 ・ 光に当てたときと当てていないときのカラーセロハンの色や、カラーセロハンの色が写し出された場所と写し出されていない場所の色を比べることにより、光による色の変化に気付くため、光の面白さが分かる。 ・ カラーセロハンの色の変化や写し出される色に注目すると、光を造形的に捉えることができるため、光を基に色の配置や組合せ方、傘の置き方を工夫することができる。	・ 光を基に色の配置や組合せ方、傘の置き方を工夫することで、カラーセロハンの色が変化したり、様々な場所に色が写し出されたりするため、光の面白さを基に、自分のイメージや思いをもつことができる。	・ 光に当てたときのカラーセロハンの色や、写し出されたカラーセロハンの色によって、場所の色が変化することを楽しむことができる。
見方・考え方	光を、カラーセロハンに通したときの色の明るさの変化や写し出される色の視点で捉え、自分のイメージや思いをもちながら意味や価値をつくりだすこと。		
今後の学習	5年「風 見える化大作戦」において、身近な場所やものの特徴を基にイメージを広げる造形遊びの学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	カラーセロハンに光を当てると色が変わることや、光を通すと色が写し出されることから光の面白さに気づき、自分のイメージや思いを基に、貼り付けるカラーセロハンの色の配置や組合せ方、傘の置き方を工夫することで、光による色の変化や場所の感じが変わることを楽しむことができる。			
評価 規準	(①知・技) カラーセロハンに光を当てると色が変わることや、光を通すと色が写し出されることにより、光による色の変化や場所の感じが変わることに気づき、手や体全体の感覚を働かせながら、カラーセロハンの色の配置や組合せ方、傘の置き方を工夫している。 (②思・判・表) カラーセロハンの色の変化や写し出される色などを基に自分のイメージや思いをもち、光を基にした色の配置や組合せ方、傘の置き方や置く場所を試しながら、造形遊びを広げる方法を考えている。 (③主体的態度) 光に当てたときと当てないときのカラーセロハンの色を比べたり、色が写し出されたときと写し出されていないときの場所の感じを比べたりし、イメージや思いを広げる活動を楽しむことができる。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	2	○カラーセロハンを組み合わせながら、光に当てる。 学習のめあて カラーセロハンの色に注目して光の面白さを見付けよう	○光による色の変化を自分なりに見いだしたいという思いがもてるよう、グループに4色1組のカラーセロハンを用意する。	◇カラーセロハンに光を当てると色が明るく見えることや、色を重ねることで混色できることを繰り返し試し、光による色の変化について発言している。 ＜行動・発言③＞
あらわす・ひろげる	2	○透明なビニル傘にカラーセロハンに貼り付けたり、光を通して色を写し出したりする。	○カラーセロハンの枚数や色の配置、組合せ方を変えながら、写し出される様々な色を感じ、自分なりの色のよさを見いだせるように、大きさや長さの異なるカラーセロハンに十分に用意する。	◇カラーセロハンの枚数や色の配置、組合せ方を試しながらビニル傘に貼り付けたり、光を通して写し出される色から自分のイメージや思いを広げたことを発言したりしている。 ＜行動・発言①＞
ふりかえる	1	○カラーセロハンに貼り付けたビニル傘の、置き方や置く場所を工夫しながら、色を写し出す。（本時）	○場所と写し出される色の組合せ方によって、場所の感じが変化することに気付けるよう、傘の置き方や置く場所の工夫について共有する機会を設定する。	◇写し出される色によって場所の感じが変化したことを記録写真に残し、光の多様な価値について記述している。 ＜記録写真・ロイロノート①②③＞

本時の学習（4／4 時間目）

ね ら い 置き方や組合せ方を自分なりに工夫して写し出された色によって、身近な場所の感じを変えることを楽しむ。
 評価項目 写し出される色によって場所の感じが変化したことを記録写真に残し、光の多様な価値について記述している。

<記録写真・ロイロノート①②③>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
1 前時の振り返りから、本時のめあてをつかむ。 ・葉っぱに黄色を写し出したら花が咲いたように見えたから、くすの木に写したらどんな感じになるのか見てみたいな（目的意識）	○友達の傘の置き方の工夫や、イメージや思いを基に、自分の思いやイメージを広げられるよう、前時にロイロノートに提出された記録写真を見合い、友達のイメージや思いを聞くよう促す。 ○光を通して写し出される色を基に、自分なりに場所の感じを変えたいという思いがもてるよう、記録写真を見て気付いたことと、本時に取り組みたいことを問いかける。
めあて：傘の置き方を工夫しながら、身近な場所に色を写し出すと、どんな感じになるか見つけよう	
2 ビニル傘の置き方を工夫しながら、様々な場所に色を写し出す。 ・くすの木の幹に傘の黄色を写したら、どんな感じになるのかやってみよう。 ・幹の茶色と写し出された黄色が重なった部分は、色が写し出されていない部分と比べて、明るくなったな。写真を撮っておこう。 ・友達は枝に引っ掛けて写し出しているな。引っ掛けると、広い部分に色が写し出せるのだな。 ・傘を枝に引っ掛けてみよう。広い部分に色が写し出されて、黄色に赤色が混ざった部分や、緑色になる部分があって、くすの木がカラフルな洋服を着ているみたいだな。 3 撮影した記録写真を用いて、光が写し出された場所を鑑賞する。 ・友達はジャングルジムに傘をたくさん引っ掛けて写し出したのだね。友達はパーティーみたいな感じって言っていたけれど、私はいろいろな色がジャングルジムの下や棒に写し出されているから、光のお城みたいに感じるな。 ・友達からゴージャスな感じや楽しそうな感じがすると言ってもらってから写真をもう一度見たら、明るい色が写し出されているから、くすの木が喜んでるようにも見えるな。 ・くすの木に色を写してみたら、茶色の幹色がカラフルな洋服を着たみたいに見えて、楽しそうな感じがしたよ（目的を達成した意識）	○自分のイメージや思いを残し、新たなイメージや思いを次々と見付けられるよう、傘の置き方を工夫して写し出された色を、記録写真として静止画で撮影し、感じたイメージや思いを書き入れ、ロイロノートに提出するよう伝える。 ○様々な場所で傘の置き方の工夫を基に、自分のイメージや思いを広げられるよう、ペアで役割を分担しながら活動するよう促す。 ○友達の傘の置き方の工夫や、イメージや思いを基に、自分のイメージや思いを更新するきっかけを得られるよう、校庭の東側半分に活動範囲を設定し、友達の傘の置き方や写し出された色にも着目するよう促す。 ○光を通して写し出される色と、色が写し出される場所との組合せ方によって場所の感じが変化することに気付けるよう、色を写し出していないときの場所の感じと比べ、その違いを問いかける。 ○光を通して写し出された色を基にした、様々なイメージや思いに気付けるよう、3～4人のグループ形態で、互いが撮影した記録写真を見合いながら、意見を交流するよう促す。 ○友達の記録写真から様々なイメージや思いをもてることに気付けるよう、写し出される色と写し出される場所との組合せ方の工夫や、色が写し出されたときと写し出されていないときを比較し、場所の感じの変化について話し合うよう促す。 ○これまでの活動を通して広がった見方や感じ方を基に、光を通して写し出された色に対する自分のイメージや思いの深まりを感じられるよう、鑑賞したことを基に、再度自分の記録写真を見るよう促し、場所の感じの変化を問いかける。
4 本時の学習の振り返りをする。 ・友達は朝礼台を燃えるような感じにしたり、校庭を海のような感じにしたりしていたな。身近な場所に色を写し出すと、身近な場所がいつもと違う感じになるから、光って面白いな。	○題材の学習を通して学んだ、光による色の変化や場所の感じを変えるといった自分なりの価値を自覚できるよう、これまでの学習の過程を振り返った後、学習のめあてに対する個人の振り返りを行うよう促す。